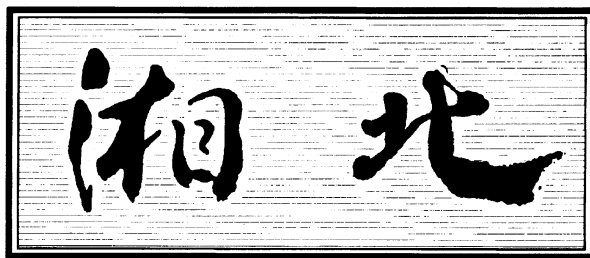


～湘北地区の人口(世帯数)～

鶴が台	5,339	(2,528)
香川	11,502	(4,340)
松風台	1,540	(592)
甘沼	5,361	(2,079)
みずき	1,977	(707)
湘北地区	25,719	(10,246)
茅ヶ崎市	232,920	(92,436)

平成21年2月1日現在



発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 青木 有俱

湘北地区 (平成21年2月1日現在)
 世帯数 10,246世帯
 人口 25,719人
 印刷所 有限会社 仲手川印刷
 TEL (0467) 85-2718

発行部数 10,000部

第20回
香川公民館
まつり

10月31日(金)
 ~11月2日(日)

天気予報に反し絶好のお祭り日和になりました。十月三十一日から十一月二日の三日間、香川公民館まつりが開催されました。

湘北地区社協は三日目のバザーに参加し、カレーライス、味噌おでん、水飴、柚子味噌、水飴せんべい、綿飴、ウーロン茶を販売致しました。

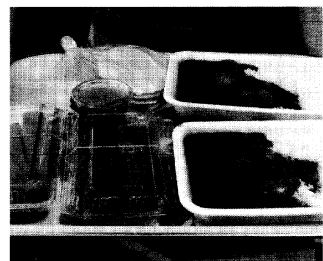
今年初めての試みとして、カレーライスに挑戦しました。涼しくなるとはいえ食中毒が心配でしたので、常に鍋を火にかけかき回し続けるなど気を使いました。結局、当初の予定を上回る九十食以上も売り上げ、十二時には完売するという盛況ぶりでした。

味噌おでんは今年はこちらをよくをダシで煮込んでから、柚子味噌を添えるという手間をかけることになって、味が一段と美味しくなると評判でした。

柚子味噌についても、自宅で作られた柚子を沢山寄付してくださった方がいらした為、新鮮な柚子を丹念にすりおろしてから、丁寧に味噌を練ることにより、香りの良い柚子味噌が出来上がりました。

綿飴は相変わらず人気ですが、どうしても作るのに時間がかかるのが難点です。それでも子どもたちが作る作業をじっとながめながら待っている姿は、とても可愛らしかったです。

水飴と水飴せんべいについては、子どもたちのおやつ文化の変化でしょうか、少しづつ人気が低迷している様に思われました。とにかく、天候にも恵まれ、トランプも無く今年も無事に終えることが出来、ほっとしております。



初挑戦のカレーライス

今後、この公民館まつりを通じて、少しでも湘北地区社協の活動が地域の皆様にご理解いただけましたら幸いです。

健康づくり講座
メタボな人はどんな人?

湘北地区社協・民児協が主催の健康講座が十一月十六日(土)に香川公民館で行われました(二十九名参加)。

講師を湘南東部総合病院の皆さんにお願いをし、メタボリック症候群についての解説や、生活習慣の見直しについて講演をしていただきました。又、一部ですが検査技師による採血検査や最新の体組成計で測定された方もいました。

ユーモアと実技を交えた講演はすぐに始められそうなる事はかなりで参加された方々も熱心に耳を傾けておられました。中でも筋肉トレーニングをする年齢に関係なく成長ホルモンが作られ、若さを保つことができるといったお話は、会場の女性達に笑顔があふれました。



次回の健康講座は、三月一日に行います。

湘北地区の地域福祉を考える懇談会

この懇談会は、地区内の高齢者・子育ての団体、地域サロン・自治会・地域包括支援センター・福祉施設など福祉に関わる人たちが集まり「だれもが安心して暮らせる町とは」地域の問題や、何が必要か、出来る事は何か等をみんなで話し合い、具体的に地区社協に報告提案をしています。

昨年は、私たちの提案した六つの企画「みなさんに配ったカラフルな福祉マップ・地区社協ホームページの立ち上げ・ボランティア入門講座・お元気ですかコール」等が実行されました。

3年目の今年も新しい参加者を迎え、高齢者・障害者・子育て等、地域での温かな関係づくり、湘北地区のネットワークをどう考えるか等、幅広い話題で活気のある懇談会となりました。時間を割き集まる多忙な方々の熱意とパワーが無駄にならないよう今年度も報告提案にまごめて行きます。

施設研修に参加して

平成二十一年一月十九日(月)湘北地区社会福祉協議会主催の視察研修で、「神奈川県立茅ヶ崎養護学校」と「特別養護老人ホーム」の二箇所を見学に行きました。

参加人数は二十二名でした。コートのない暖かい春のような陽気でした。

はじめに見学したところは、西久保にある茅ヶ崎養護学校で、参加人数の半分ずつに分かれて、施設内を案内して頂き、小学部から中学、高校の教室、プレイスペースや体育館、プール等とも行き届いた教室が沢山ありました。児童

生徒の為、一生懸命な先生方の学校運営の方針に力を入れて、生きがい、やりがい、働きがいのある部室に熱意を感じました。

部屋の一角で、施設の概要や子どもたちの普段の様子や、活動の話や聞き、「子どもたちの笑顔を見るのが一番嬉しいですね」と満面の笑顔で話して下さいました。年間行事の中で、十一月中旬頃きらめき祭りが行われ、児童生徒、職員保護者が地域の人達と共に、劇やダンス、作品展など活動しているお祭りだそうです。是非地域の方々にいらして下さいとの事でした。

次に西久保にある「特別養護老人ホーム」つるみねを訪問しました。茅ヶ崎で最初のユニット方式の新しいタイプの老人ホームです。全室個室でトイレ付き、ベッド付き、洗面台付きで、とても広い施設でした。ベッド数は(100床(入所80床、短期20床)で寝たきりにはさせず、日中は皆の居る所に、車椅子やソファ等で寝ている人、ゲームを一人でしている人が居るのに、介護不足の状況が現実的に見受けられました。介護45の方が、大半入所されています。年齢は七〇歳から最高一〇八歳で、平均年齢八九・八歳だそうです。施設に入所されている方は、「幸せだなあ」とつくづく思いました。「いつまでもお元気で居て下さい」と言って施設を後に帰路に着きました。

おたのしみ会

香川社協

香川社会福祉協議会でのミニテイスーパー活動の紹介を致したいと思います。

香川自治会館において、特別の事情のある方、ご自分で会場にこられる方で七〇歳以上の独り暮らし

しの方々に対象に皆さんがいつまでもお元気でいたただける様に、ふれあいの場を提供しています。

毎回午前中は、市保健師さんをお願いをして、血圧測定、健康に関する講話をしていただき、昼食はお弁当をいただいたながら会員スタッフの方々と和やかなおしゃべり、昼食後はボランティア活動をしている方々のご好意による余興を楽しんでいます。

今年度は年6回の活動の中で、高齢者の皆さんのお孫さんにあたると思われる北陽中学校吹奏楽部(生徒)の演奏、香川小学校五年B組(児童)のミニ芸・体操、香川保育園(園児)達の歌、楽器演奏、手遊び等を行って貰い、更にプレゼント交換と大喜びでいただきました。また、高齢者でも安心の簡単ポーズで楽しく転ばぬ先の運動「介護予防みんなで」がさき体操お口の健口体操ビデオCDを放映体験していただき、更に恒例のビンゴ大会、マジック、フラダンス、ハーモニカ演奏等、手芸で



尚、今年度、香川地域で活動している福祉団体の中の一団体に選ばれ、香川社会福祉協議会に香川自治会長より【ふれあい基金】の贈呈がありました。有難うございました。

また、開催の都度、食事代の一部として「四〇〇円」の会費をいただいております。

皆さんがいつまでも、ご健康でおられます様、参加会員になられる方をお待ちしています。

